

特別展示 | special exhibition | Where the water plants live

水辺に生きる草 X 水草講演会

消えゆく 水草を守る

水草の不思議とその危機、
そして私たちにできること

2018.9.15 sat.

13:30 ▶ 16:00

自然の川や池などを再現した展示「水辺の自然」エリアにて

特設展示「水辺に生きる草」がオープンしました。

「田んぼ」や「ため池」など水草とその環境を展示し、水草の魅力を伝えます。

この講演会では、水草の生活や現状、そして保全などについてご紹介します。

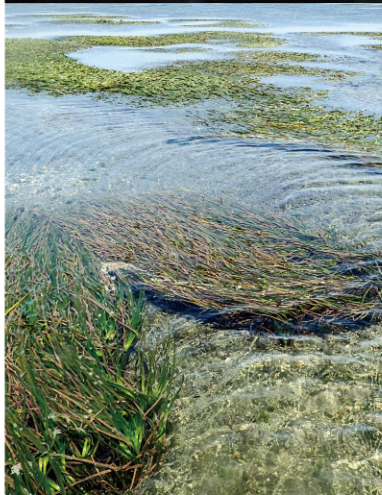
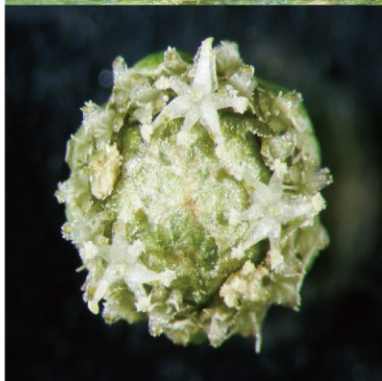
事前申込制
参加費無料

定員
80名

葛西臨海水族園
本館2階 レクチャールーム

Tokyo Sea Life Park 





- 日時：2018年9月15日（土） 13：30 - 16：00
- 定員：80名
- 対象：年齢制限はありません。中学生が理解できる内容になります。
- 場所：葛西臨海水族園 本館2階 レクチャールーム

講演会終了後（16：00から16：40まで）、希望される方を対象に、「水辺の自然」エリアで水族園スタッフが水槽前ガイドを実施する予定です。

第1部 「水辺をつくる・みせる・つたえる」

/ 太田 智優（葛西臨海水族園 飼育展示係）

第2部 「消えゆく水草を守る」

水草の不思議とその危機、そして私たちにできること」

/ 講師：田中 法生（国立科学博物館 植物研究部）

水草は実に不思議で魅力的な植物です。植物の祖先たちが成し遂げた「上陸」という一大トレンドに背を向け、再び水中へ進出した植物が水草です。この「水中に戻る」という異端の進化こそが、水草の不思議な形やくらしを生み出したのです。ところが、そこまでして進出した水中環境は、人間によって大きく変化してしまいました。水草の40%以上が絶滅の危機にあるという悲しい状況です。この中で私たちには何ができるのか？ 本当に必要なことは何か？ 水草の自生地の現状と水草を守るための科学を、最新の研究を交えてご紹介します。

【プロフィール】昭和45年東京都江戸川区生まれ。国立科学博物館植物研究部多様性解析・保全グループ研究主幹。筑波実験植物園研究員を兼任。博士（理学）。水草保全ネットワーク代表。専門は水草の進化、分布拡散、遺伝的構造など。水草の保全研究にも取り組む。日本では数少ない水草研究の第一人者。著書に『異端の植物「水草」を科学するー水草はなぜ水中を生きるのか？ー』（ペレ出版）、共著に『新しい植物分類学1』（講談社）、『日本の固有植物』（東海大学出版会）、『日本の野生植物1、5』（平凡社）など。

応募方法 Eメールで以下のとおりお申し込みください。

▶ 締切2018年8月31日（金）送信分まで有効

mizube@tokyo-zoo.net 宛に、件名を「水草講演会」とし、本文に参加希望者全員の氏名（ふりがな）・年齢、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送りください。お申込みの際は、@tokyo-zoo.net からのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。特に携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。※応募者多数の場合は抽選とし、当落にかかわらずお知らせいたします。

東京都葛西臨海水族園

- 開園時間：午前9時30分～午後5時（入園は4時まで）
- 休園日：毎週水曜日（祝日や都民の日に当たるときは翌日）、8月中は開園
- 入園料：一般700円 65歳以上350円 中学生250円
※小学生以下、都内在住・在学中学生は無料
- お問合せ：東京都江戸川区臨海町6-2-3 03-3869-5152
- H P : <http://www.tokyo-zoo.net/>

公益財団法人東京動物園協会 葛西臨海水族園 展示 17 東京都葛西 001489 号 平成 19 年 5 月 29 日～平成 34 年 5 月 28 日 動物取扱責任者氏名：齋藤一広

